

日本テスト学会第 21 回大会 開催のご案内

「テストを支える人材の育成に向けて」

日本テスト学会の第 21 回大会は、「テストを支える人材の育成に向けて」をテーマとして開催いたします。近年、進展を遂げているコンピュータを利用したテストの隆盛、さらに、2020 年来のコロナ禍の社会状況の下では、オンライン試験のニーズも急速に高まっています。このように急激に移り変わるテストをめぐる社会環境の中で、先進的なテストを支えるための、知識と技術を備えた人材の育成が求められています。

本学会の設立趣意書にも、『一刻も早く、心理・教育測定技術分野における研究者を多数育成し、IT 時代に対応した多面にわたる「テスト技術」、「評価技術」の研究開発と実用化を活発にする必要があります』と記されています。今回、この初心に立ち戻ると共に、テストの実施運営に資する広い視野を持った実務者の育成も見据えていきます。

本大会のシンポジウムでは、テストの開発に挑むプロフェッショナルの姿、テストの社会的な役割を支えるテスト理論のあり方、教育フィールドでの最先端の CBT の実践を紹介する中で、テストを支える人材育成を意識した魅力的な話題を提供します。

大会本体は、「人材を育てていく」ために、一般発表を大切にすることにしました。本大会は、オンラインで実施します。その中でも、声に出して発表する時間を確保して、その場で質疑応答を行います。オンラインでも相互交流が可能で、できるだけ口頭発表に近い形での研究発表を目指します。ぜひ、会員の交流を深めたいと思います。

オンライン開催なので、参加費はお値打ちで、旅費もかかりません。発表には絶好の機会です。まだまだ粗削りな卒論、修論、博論の中間発表も歓迎です。また、開発途上のテストや運用中の試験での試行錯誤を共有して、テスト実務者同士での解決に向けた知恵の創出の場としても活用していただきたいと願うところです。さて、人を育むには、幅広い人的な交流が不可欠です。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

大会ウェブサイト <https://www.rdncuee.jp/jart2023/>

日本テスト学会 第 21 回大会 実行委員長
大学入試センター 研究開発部 教授 内田照久

1. 開催方法と日程

本大会は講演・質疑応答を含め、全てオンラインで実施します。公開シンポジウム、研究委員会企画シンポジウムは、Zoom のウェビナーを用いたリアルタイム配信として実施し、一般研究発表は Zoom ミーティングを用いた口頭発表で実施します。各種日程は以下の通りです。

- リアルタイム配信日 : 2023 年 8 月 27 日 (日) [シンポジウム・口頭発表]
- 発表論文抄録公開日 : 2023 年 8 月 21 日 (月) ~ 9 月 30 日 (土)

< 2023年8月27日(日) タイムスケジュール(予定) >

	開催時間帯	配信時間 (分)	内容
午前	10:00~12:00	10 110	オープニング・セッション 「大会実行委員長 挨拶・日本テスト学会理事長 挨拶」 研究委員会企画シンポジウム 「テストのプロフェッショナル ―魅力・適性・育成―」
	12:00~13:00	60	休憩
午後 1	13:00~14:50	110	公開シンポジウム 1 「世界の, 日本の, 地域の学力調査」
	14:50~15:00	10	休憩
午後 2	15:00~16:30	90	公開シンポジウム 2 「最先端をゆく CBT の教育実践に学ぶ」
	16:30~16:40	10	休憩
午後 3	16:40~18:40	120	一般研究発表セッション (Zoom でのオンライン口頭発表) ※ 発表終了後 20 分程度は, アフタートークセッションの時間として そのまま Zoom ミーティングルームを開けておく予定です。

2. 内容

2.1. シンポジウム

公開シンポジウム 2 件と研究委員会企画シンポジウム 1 件を予定しております。公開シンポジウムについては、事前に参加申込みを行うことで、非会員の方も無料でご参加いただけます。

【研究委員会企画シンポジウム】 テストのプロフェッショナル ―魅力・適性・育成―

テストを支える人材を安定的に育成し、テストの運用をサステナブルなものとするためには、テストの設計・運用に関わる仕事の存在とその魅力を発信するとともに、人材を育成するための基盤や仕組みづくりが求められる。そこで本セッションでは、テストに関わる仕事の魅力、テストを支える人材に求められる資質、人材の育成について、テスト運用に長く関わってきた方々の話題提供を通して議論する。

企画／日本テスト学会 研究委員会

司会／鈴木雅之 (横浜国立大学)

話題提供者／渡邊直一 (人事院), 服部 環 (法政大学), 植野真臣 (電気通信大学)

指定討論者／豊田秀樹 (早稲田大学)

開催方法／リアルタイム配信 (Zoom ウェビナー)

開催日程／2023年8月27日(日) 10:10~12:00

【公開シンポジウム 1】世界の、日本の、地域の学力調査

「学力低下論争」が起こった 2000 年代初め、OECD（経済協力開発機構）による PISA（生徒の学習到達度調査）の結果が注目され、日本でも 2007 年から全国学力・学習状況調査が開始され、近年では地方自治体でも独自の学力調査が行われてきている。PISA は当初から独自の学力観に基づく学力の経年比較を目指して設計されたが、最近では日本発のテストでも同様な調査が行われるようになってきている。本シンポジウムでは、テスト理論（特に項目反応理論）がそれらの調査にどのように貢献しているかを紹介し、今後の学力調査のあるべき姿について討議する。

企画／光永悠彦（名古屋大学）・第 21 回大会実行委員会

司会／宇佐美慧（東京大学）

話題提供者／光永悠彦（名古屋大学）、柴山 直（東北大学）、大久保智哉（OECD）

指定討論者／山地弘起（大学入試センター）

開催方法／リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程／2023 年 8 月 27 日（日）13:00～14:50

【公開シンポジウム 2】最先端をゆく CBT の教育実践に学ぶ

本セッションは、中学校・高等学校・大学における最先端の CBT の実践事例から、ボトムアップに CBT についての理解の深化を目指す。これまでわが国において、CBT は国・地方自治体などによるトップダウン型の議論や政策立案が中心であった。CBT の普及においては、取得されたテストデータの背景情報を理解することや、実践者が認識している課題を共有することが欠かせない。そこで本セッションでは、CBT を先駆的に実践されてきた登壇者から、生き生きとした CBT の事例を聴くことで、個別最適化された学習の支援に CBT がどのように用いられているか学ぶことを目的とする。

企画／寺尾尚大（大学入試センター）・第 21 回大会実行委員会

司会／寺尾尚大（大学入試センター）

話題提供者／辻 史朗（船橋市立飯山満中学校）、尻江重幸（札幌新陽高等学校）、小川 健（専修大学）

指定討論者／大塚雄作（国際医療福祉大学）

開催方法／リアルタイム配信（Zoom ウェビナー）

開催日程／2023 年 8 月 27 日（日）15:00～16:30

2.2. 一般研究発表

<発表要件>

「発表者のうち少なくとも 1 名は本学会会員であること」、「発表論文抄録集（電子版）への論文掲載」、「口頭発表」の 3 つの条件を満たすことで、公式発表として認められます。

<抄録原稿の作成・提出>

発表者は、事前に参加申込みと一般研究発表申込みを済ませていただいた上で、7 月 10 日（月）までに大会ウェブサイト上の専用フォームから抄録原稿をご提出ください。締切の延長はありませんので、期日までのご提出にご協力をお願いします。発表論文抄録は、8 月 21 日（月）～ 9 月 30 日（土）の間、大会ウェブサイト内の参加者のみが閲覧できる限定ページ上に公開されます。

<口頭発表>

一般研究発表は、8月27日(日)16時40分～18時40分に開催する一般研究発表セッション(Zoomミーティングを使用)において、スライド等の画面共有による口頭発表と、質疑応答で行う予定です。発表1件あたり、質疑応答を含む20分間の予定です。

なお、本大会では発表動画の提出による口頭発表、Slack(スラック)などによるオンライン・非同期形式の質疑応答は実施いたしません。

<その他>

発表論文抄録は、大会ウェブサイトでの公開期間終了後、J-STAGEへの掲載が予定されておりますので、あらかじめご了承ください。

3. 大会参加申込み・一般研究発表申込み・公開シンポジウム参加申込みについて

3.1. 申込手続き

大会参加、および一般研究発表の申込みは、所定の期間(次項参照)に大会ウェブサイトから行ってください。

3.2. 各種申込み期間

一般研究発表の申込 : 2023年5月8日(月)～6月30日(金)

一般研究発表の抄録原稿提出 : 2023年5月8日(月)～7月10日(月)

大会参加申込・参加費払込み : 2023年5月8日(月)～7月31日(月)

公開シンポジウム参加申込み : 2023年5月8日(月)～8月27日(日)

3.3. 参加費の払込み

大会ウェブサイト上で参加申込を済ませた上で、2023年7月31日(月)までに大会参加費の払込みをお済ませください。ゆうちょ銀行・郵便局から振り込まれる場合は、本案内に同封した払込取扱票か、郵便局備え付けの払込取扱票を、他の金融機関から振り込まれる場合は金融機関備え付けの振込用紙を使用して、以下の口座にご送金ください。いずれの場合も、手数料は依頼人負担となりますのでご了承ください。

<ゆうちょ銀行・郵便局から>

口座番号 : 00190-6-451728

口座名称 : 日本テスト学会

<他の金融機関から>

店名(店番) : 〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

種目・口座番号 : 当座・0451728

口座名義 : 日本テスト学会

正会員・法人会員	準会員・学生	非会員(学生除く)
2,000円	1,000円	3,000円

<払込みに関するお願いと注意>

- 振込前に，大会ウェブサイトから大会参加申込みを行ってください。
- 必ず参加登録者名で払い込んでください（所属機関等からの振り込みの際は特にご注意ください）。
- 利用明細は領収書の代わりとして必ず保管してください。

4. 抄録原稿の作成・送付

抄録原稿の作成・提出にあたっては「抄録作成要領」を必ずご参照ください。

5. 大会プログラム・論文抄録集

本大会では，紙媒体の発表論文抄録集を発行いたしません。電子版の発表論文抄録集（PDF 形式）は，大会ウェブサイトに 2023 年 8 月 21 日（月）～ 9 月 30 日（土）の間，掲載しますので，必要な方はダウンロードしてください。

6. 第 21 回大会事務局連絡先

日本テスト学会第 21 回大会実行委員会 E-mail : jart2023@rd.dnc.ac.jp

抄録作成要領

原稿提出締め切り 2023 年 7 月 10 日（月）

抄録原稿は、そのまま発表論文抄録集に掲載されます。以下の要領に従って原稿を作成されるようお願いいたします。原稿は、事前に発表申込みを済ませた上で、大会ウェブサイトの所定のフォームから提出してください。なお、抄録原稿に不備がある場合は、後日、大会事務局から発表者にお問い合わせをすることがございます。

抄録原稿作成要領

抄録原稿用のテンプレートファイルを、大会のウェブサイトからダウンロードしていただけるよう、準備いたします。このテンプレートは、日本テスト学会誌の投稿論文用テンプレートを基にしており、抄録の体裁の統一と、学会発表から学会誌への投稿をより円滑に進めるための支援を目的としています。適宜、ご利用ください。なお、本テンプレートを利用することは必須ではありません。

抄録原稿の分量は、発表 1 件につき 2 ページ以上 6 ページ以下とします。ページ数が奇数になってもかまいません。テンプレートを使用しない場合は、A4 の用紙に、上下に各 25.4mm、左右に各 19.0mm 以上の余白を設けてください。発表題目以外は 10.5 ポイント以上の文字サイズとします。レイアウトは以下のようにしてください。

1 ページ目

- ・ 1 行目：標題 大きめの文字サイズ（14 ポイント程度）で中央に書く
- ・ 2 行目：副題（あれば） 大きめの文字サイズ（14 ポイント程度）で中央に書く
- ・ 3 行目～：発表者の氏名と所属
所属が大学の場合は、学部名（大学院の場合は研究科名）まで書く。連名発表者で所属が異なる場合は、上付きの数字^{1,2}で発表者と所属の対応を明確にする。
- ・ 以降：本文

2 ページ目以降

- ・ 1 行目より本文を書く。
- ・ 原稿末尾に連絡先（E-mail アドレス・会員番号）を記入することができる。

大会ウェブサイトの原稿提出フォームによる抄録原稿の送付方法・注意事項

- (1) 原則として PDF 形式で原稿を作成し、大会ウェブサイトの「原稿提出フォーム」を通じて送信してください。LaTeX 文書は、Adobe Acrobat や dvipdfm などのソフトウェアで PDF 形式に変換して提出してください。
- (2) 図表はあらかじめ電子的に貼り付け、別途作業の必要がないようにしてください。
- (3) 原稿にページ番号は記入しないでください。
- (4) 特殊文字（外字など）は印字されないことがありますので、使用しないでください。
- (5) 本文は黒字のみで作成してください。また、図や表は、マーク・線種・背景色などに配慮し、モノクロ印刷でも判別できるようにしてください。
- (6) 原稿は大会ウェブサイトの「原稿提出フォーム」（発表申込みフォームとは別になりますのでご注意ください）から、発表申込みを期日までに済まされた上でお送りください。